

おわりに

東京都獣医師会・動物のいのちを守るPROJECT
「ペット防災BOOK～大切な家族のために今できること～」
をご購入いただいたみなさまへ



公益社団法人東京都獣医師会では、人と動物のよりよい共生環境を創るために、「動物のいのち救済基金」の活動に取り組んでいます。

この活動には以下の4つの目的があります。

- 1 自治体による動物の殺処分頭数を限りなく0に近づけるための取り組み
- 2 災害時の動物救護活動および救護体制の構築
- 3 高齢者の動物飼育に対する支援事業
- 4 その他の動物福祉活動

この目的に謳われている災害時の動物救護に関する検討の中で、これまでに日本各地で発生した大規模災害を振り返り、東京都に大規模地震が発生した際の混乱状況を想定すると、「ペットを守るためにもっとも重要なことは、飼い主自身が備えておくことである」との結論にいたりしました。

大規模災害が発生すれば、当然のことながら獣医師や動物病院も被災してしまいます。ただちに被災動物の救援活動に動けない場合も考えられます。しかし、本会や会員獣医師がこれまでに携わった動物救護活動で得た知識や情報をみなさまにお伝えしておくことが、飼い主の備えの一助となるはず、との思いから、「ペット防災BOOK～大切な家族のために今できること～」を制作いたしました。

このBOOKを参考に、我が家オリジナルの災害対策をご用意ください。

公益社団法人東京都獣医師会
共生社会構築委員会 委員長 松尾克徳

※売上の一部は「動物のいのち救済基金」(人と動物との幸せな共生環境を創る活動)に役立たせていただきます。

Contents

目次

はじめに～東京都で予想される地震被害は？	1
では何をどう備えていけばいいのでしょうか？	5
1 災害が起こる前にやっておくこと	7
2 災害が起こったときの行動	13
3 避難生活を送る上での注意点	15
Point 1 いつも以上に周りに配慮することが大切	16
Point 2 ペットの居場所は基本的に飼い主以外立ち入り禁止	16
Point 3 避難所でも共助が大事	17
Point 4 動線を分ける	17
Point 5 自宅避難という方法	17
Point 6 リスクをカバーして生活しよう！	18



4 ペットの災害準備品紹介	19
ペットのための 持ち出し品チェックシート	25
5 ペットの健康を守る！	27
参考 備えておけば安心セットリスト	33
6 実践！準備をはじめよう！！	35
迷子ポスターを作ろう！	35
アクションカードを作ろう！	37
ペットの避難と飼い主の備え	40
シミュレーションチャート(災害発生～退避後の暮らしその後の生活)	41
平成28年熊本地震」に学ぶ	45
おわりに	53